

まるごと吉野川 “魅力再発見”講座

古くから吉野川との関わりによって育まれてきた阿波の歴史・文化・環境をテーマに
さまざまな角度から吉野川について学んでもらおうという「まるごと吉野川“魅力再発見”講座」。
上流域を巡って吉野川の歴史と利水を学ぶバスツアーを開催しました。



香川用水記念公園で

水の大切さを実感

2023年11月11日、「吉野川の歴史と利水を学ぶ」四国三郎・吉野川上流域バスツアーを開催しました。秋晴れの空の下、バスは18人を乗せて、香川県三豊市にある香川用水記念公園へ。

瀬戸内海気候の香川県は、降雨量が

が極端に少なく、大きな河川もないため、昔から水不足に悩まされてきました。香川用水は吉野川

総合開発計画の一環として建設され、昭和49年に通水開始。早明浦ダムで蓄えられた吉野川の水は池田ダムから取水され、8kmの阿讃導水トンネル



公園の中核施設・水の資料館



香川用水配水ルート。吉野川から分水された水が、讃岐をくまなく潤す様子がわかります



香川用水記念公園管理課長の山下忠昭さんから、香川用水について説明いただいたあと、オリジナルの短編映像「さめきの水の物語」を鑑賞しました

を経て東西分水工へ到着します。香川用水記念公園は、この東西分水工の周辺6haに整備され、香川用水の歴史と恩恵を伝える施設です。

農業用水、上水道用水、工業用水など合わせて年間2億4700万トンの水を導水する香川用水は、まさにライフライン。常設展示や映像で香川用水の歴史や役割について学んだ参加者からは、「香川の人が水を大切にしようという気持ちや取り組みがよく分かった」「徳島の子ども達にも学んでもらいたいね」との声が。四国のいのちを育む吉野川の水に対しての認識を新たにしました。

池田市街地ジオツアーで 地形や歴史文化を学ぶ

猪ノ鼻トンネルを通って徳島県へ。午後は「みよしジオガイドの会」の案内で、三好市池田市街を90分かけて巡るジオツアーに出かけました。三好のジオ(大地・地球)サイトを訪れ、大地の成り立ちや歴史文化とのつながりを学ぼうというものです。

幕末から明治時代にかけて刻みだばこ産業で栄えた池田には、うだつを掲げた街並みが残っています。意匠を凝らしたうだつや瓦、国の登録有形



みよしジオガイドの多田憲二さん



交通の要所であり、たばこ等の集積地として栄えた池田の旧街道には、うだつの街並みが残っています



池田高校が立つ上野ヶ丘へと坂道を登っていきます

吉野川の川湊があった千五百礮(せんごひゃくかから)。河原を見渡す諏訪神社には大きな常夜灯が残っています



文化財である建物や煉瓦煙突が残る酒蔵などを巡りながら、ガイドさんは楽しく説明してくれます。

さて、街歩きといえは「段差」です。急勾配の石段を登って、池田高校で有名な上野ヶ丘へ。「池田町は中央構造線が町なかを通る珍しい地形です。この上野ヶ丘は中央構造線によってできた断層なんです」とガイドさん。吉野川は池田で東へ流れが変わっています。これが、これも中央構造線の活動によるものなのか。太古の大地の動きに思いを馳せ、街の歴史の足跡を辿るひとときに、参加者からは「もつと知りたい」「楽しかった」の声しきり。「気づき、学び、感じる」ことの多かった秋の一日でした。

